

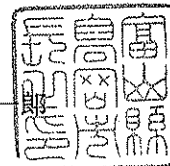


道 第 1 5 号

平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

高岡市長 橋 慶



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 1 1 4 号で依頼のありました標記の件につきまして、
別紙のとおり、意見を提出いたします。

担当：建設部道路建設課

中期的な計画の作成にあたっての意見について

富山県高岡市

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

- ・ 道路は、活力ある経済・社会活動を支える最も根幹的な社会資本である。特に、高岡市においては、一級河川庄川、小矢部川の二大河川をはじめ多くの中小河川を有するという地理的制約や、冬季は北陸地方特有の重い雪が降る厳しい自然環境下にあり、これらを克服し、富山県西部の中心都市として、広域行政はもとより石川県能登方面や岐阜県飛騨方面との広域連携・交流などに的確に対応するため、高規格幹線道路から生活道路に至る体系的な道路網の一層の整備促進と、災害や雪に強いだれもが安全で安心して暮らすことのできる道づくりが重要課題となっている。

- ・ なかでも、道路ネットワークの整備が最も重要な課題であると考えている。高速道路から広域幹線、地域幹線にわたる道路ネットワークが構築されることが、地域の活性化、発展に必要なことである。都市部に比べ公共交通サービスが得られにくい地方では自動車は生活必需品である一方、地方における道路整備はまだまだ不十分であり、重点的に地方道路整備を推進していただきたい。

本市においても、中心市街地における適切な交通の分散・誘導、各地区との連携強化を図るため計画された環状放射道路等の幹線道路で未整備の区間があり、早期の整備完成が望まれている。

本市は、今後数年の間において、東海北陸自動車道の全線開通、北陸新幹線の開業、伏木外港の整備など人や物の流れが大きく変わろうとしている飛躍の時期にあたり、それぞれのアクセスを強化し、有機的に結ぶためにも、道路ネットワークの一層の整備が求められている。

例：高岡環状線、姫野能町線、能町庄川線、中川和田線など

- ・ また、都市の品格を上げ、関東・東海等の都市圏はもとよりアジア諸国からの交流も呼び込めるような行きたいまちにするべく、高岡市の豊かな歴史・文化を生かした景観の創造や観光振興の面からも景観に配慮した快適なみちづくりは重要だと考える。

例：国道156号の無電柱化、山町筋伝統的建造物群保存地区の景観整備（無電柱化等）など

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・ 橋梁等の道路構造物が老朽化していく中で、今後、増加するであろう維持管理コストを縮減することが重要である。そのためには、適切な時期における延命策の実施等、計画的・効率的な維持管理が必要であると思う。
- ・ 既存の道路ストックをさらに利活用することも効率化の視点から重要であり、本市においても、北陸自動車道、能越自動車道の2本の高速道路をより活用するため、追加 IC の設置を検討しているところであり、こうした利活用に関しても国の支援をいただきたいと思う。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 国・県が整備される広域道路に関して、市町村の意見を反映し、各市町村の道路整備計画と整合を図れるよう、市町村が参画できるような場を設けていただきたい。
- ・ また、市民の皆さんが、地域共有の資産である道路空間を地域づくりにもっと活用していただけるよう、地域住民との協働による道路維持管理の仕組みを検討することも今後の課題であると考えている。